



## 助成金が危い!!!

►セナターの轍をかけた助成金です。  
支援をどうぞお願ひします◀

残暑おみまい申し上げます。

労働センターも、5年目の夏を迎えました。

”いつぶれてもおかしくない”ゼロからの出発でしたが、ふりかえってみると、コンサート、甘夏やリンゴの産直、粉石けん等の販売、生活保護の取り組み、昨年5月からの牛乳パックのリサイクルと、山あり谷ありのゆっくりとした歩みでしたが、出会いと支援の広がりがあります。

そして、昨年は、国と県、市に「在宅重度障害者通所施設援護金」（通所小規模作業所助成金）を申し込み、熊本市内で最初に（同時にもう一ヶ所）審査を通って、国から70万の助成金をもらいました。この市）助成金制度は、国、県から各80万づつ、市から70万、3年間をメドとしているので、これをバネに売り上げを伸ばし運営を安定させ・もっと多くの仲間をむかえられるよう必要なら新たな事業も検討して・・・と、3年後を展望しつつ、販売の見直しや予算の作成、組織の整理をすすめるなど意氣があがっていました。

ところが ところが・・・どうも危ないのです。今年は書類の審査だけでなく、県と窓口である身障連からセンターを見に来るというのです。見直しの理由としては運営の責任体制があいまい、助成をうけるのに必要な「概ね10人以上19人未満」という人数の規定を満たしているのではないか、というのです。

確かに、「健常者」が運営の責任をもち、指導員が毎日の作業のおせんだけをする作業所のイメージからみると、労働センターはちょっととかかっていて話がすぐ通じる「健常者」がそとからは見えなくてあぶなっかしく見えるのかもしれません。

でも、センターがこれまでやってこれたのは、熱い支援の広がりのお陰です。運営の責任をまず第一にセンターの障害者自身が負い、運営委員会や、販売の協力者、牛乳パックのつながり、ボランティヤなどが支援するというセンター原則を、組織的に整理し力量をさらにたかめて行くことが、今後の課題だと考えています。

また人数に関しても、これまで賃金もなく、むしろ身ぜにをきって販売や交流に出かけていくという状態でしたから、出入り自由というふうで、時間などはあまりきびしくしていませんでした。とにかく、センターは支援に支えられて5年間自力でやってきました。そしていまも動いています。その動きは、助成金の主旨から決してはずれて居ないはずです。この動きの努力の過程をみてほしいのです。

視察のときに短時間でどうやってこのことを伝えようかどうか、みなさんの中からもこれまでのかかわりでみえた労働せんたーのいろいろな側面を行政の方たちに語って欲しいのです。お盆の前後すぐだと思います。ここいちばんの支援、どうぞお願ひします。



# 粉石鹼の売り上げ目標月150個!!

## =販売の月例化にとりくみます=

センターの粉石けん等の販売には、2つのやり方があります。

1つは、学校や職場などで担当者を決めてもらって、注文や集金をとりまとめてもらう「委託販売」。もう1つは、研究会や映写会などの催しに出かけていって、その場で売る「出張販売」です。

夏は、いろんな催しの季節。センターもこのところ、東へ西へと出張販売出かけていく毎日です。「委託販売」も、新しいところが増えたりして喜んでいますが、これまでセンターの対応の不十分さもあって、なかなか定期化しませんでした。

今年の売上目標を達成し、センターの運営を安定させるには、「委託販売」が1ヶ月サイクルで定期化し、いつもセンターの石けんやお茶を使ってくださる固定客が増えることが必要です。

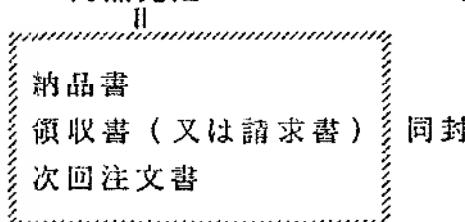
そこで、8月から下のようなサイクルで、毎月お願いしたいと思います。特に、担当者の方にはお手数をかけますが、どうかよろしくお願ひします。

毎月10日まで——10日～20日——20日～月末まで

注文書返送

商品発送

送金、振込



## 販売取扱品変更のお知らせ

センターの取扱商品が一部変わりました。

好評だったネットソープが 残念ながら製造中止になり 取り扱いできなくなりました。代わってハイム石鹼ハミガキ 300円と グレース石鹼シャンプー 500円 レモンリンス 300円の3品を取り扱うことになりました。

8月から取扱始めました。石鹼派の人びとに愛用されている無公害トリオです。どうぞよろしく ご注文下さい。

# 守山センターで夏休み♪

## =毎週土曜の午後は「交流作業日」です=

牛乳パックのリサイクルを始めてから一年余になります。毎月 熊本生協 共生社生協からセンターに 切り開いて洗った牛乳パックが運び込まれています。それを整理し 不十分な物は洗ったりきり開いたりして 業者に渡すのがセンターの仕事です。両生協の組合員さんも応援に来てくれて パックを通じてセンターの交流の輪が広がりました。

最近は生協以外からも時々持ってきてくれます。6月には あるリサイクル業者の方が 未使用のパックをトランク一杯届けてくれました。思わずプレゼントに大喜びですが そのパックをひとつひとつ切り開く作業が さあ～大変です。簡単な作業ですが やってもやっても 広いセンターに積み上げられたパックの山が なかなか減らないのです。まだ半分くらい残っています。夏休みにちょっと手伝ってやろうかな～～という方 だれかいらっしゃいませんか。

毎週土曜日の午後はセンターの「交流作業日」です。一緒に楽しく汗を流してくださる方 どなたでも大歓迎です。（もちろん 他の日でも歓迎ですが 販売などに出ていていることもあるので あらかじめお電話でも下さい。） 麦茶を冷やして待っています。

共生のたまごから生まれたひよこ

“もなかっこ”を買ってください！



センターにいる、かわいい1~2匹のひよこ、だれか引き取ってもらえないませんか？——といってもぬいぐるみ人形ですが、1昨年、障害者の自立を助けるためのモナミ基金が設立され「レターセット」や「絵はがき」と共に目玉商品として作り出されたのが、このひよこのぬいぐるみ「もなかっこ」です。ひもを引くと、オルゴールが鳴り出します。

かわいいので、いつまでもセンターにおいておきたいところですが、早くお金にかえないと支払ができません。8月中にはみんな売ってしまいたいのです。

1個3000円は、ちょっと高いですけど、”どの子もみんな共に育て！”との願いをこめて出産祝いや誕生日のお祝いにプレゼントされてはいかがでしょうか。

ご希望の方には、リボンをかけてセンターから発送します。(送料別途請け)